東北地方新広域道路交通ビジョン（案）中間取りまとめの骨子

東北地方整備局

新広域道路交通ビジョンの主な構成と中間取りまとめ

■地域の将来像
地域の社会・経済の現状や見通しを踏まえた目指すべき姿について整理（既存の総合的なビジョン等をベース）

■広域的な交通の課題と取組
・鉄道、海上、航空を含めた広域的な交通の課題や取組を平常時・災害時及び物流・人流の観点から総合的に整理
・ICTや自動運転等の技術革新を踏まえた新たな取組についても整理

■広域的な道路交通の基本方針
・広域的な道路交通に関する今後の方向性について、平常時・災害時及び物流・人流の観点から、ネットワーク・拠点・マネジメントの3つの基本方針を整理

(1)広域道路ネットワーク計画　(2)交通・防災拠点　(3)ICT交通マネジメント

▶物流生産性の向上や迅速な災害対応の観点から、重要物流道路を早期に指定するため、平常時・災害時を問わない安全かつ円滑な物流について重点的に検討し、中間的に取りまとめ

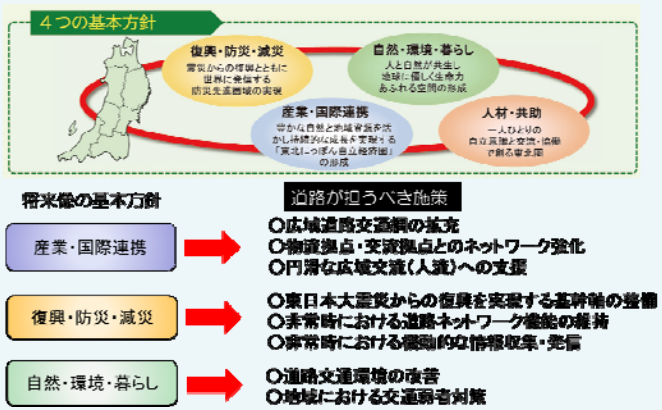
広域道路ネットワーク計画（平常時の物流機能）
広域道路ネットワーク計画（災害時の補完代替機能）
→ 中間取りまとめ

東北地方の交通分野における将来像

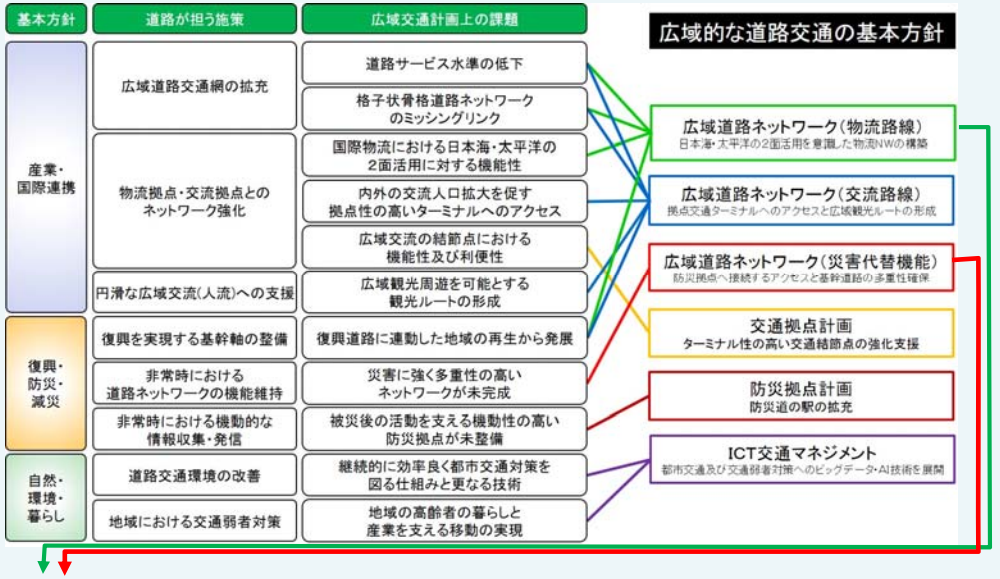
■ビジョンの位置付け（東北圏広域地方計画との関連性）
・ビジョンの策定にあたっては、平成28年3月に策定された「東北圏広域地方計画」を踏まえた地域の社会・経済の現状や見通しを踏まえた目指すべき将来像について、特に交通分野に関連のある内容についてとりまとめ

■東北圏広域地方計画における東北の将来像
・震災復興を契機に国内外に誇れる防災先進圏域の実現を図るとともに、日本海・太平洋2面活用による産業集積、インバウンド増加により、人口減少下においても自立的に発展する圏域を目指すものとして、東北の将来像が『震災復興から自立的発展へ ～防災先進圏域の実現と、豊かな自然を活かし交流・産業拠点を目指す「東北にっぽん」～』と示されている

■将来像実現のための基本方針と道路が担うべき施策
・東北圏広域地方計画が目指す将来像を実現するための基本方針に対し、道路が担うべき施策を設定し、広域道路交通上の課題と現在取り組まれている対策を把握。



●広域的な交通の課題と取組／広域的な道路交通の基本方針



平常時・災害時を問わない安全かつ円滑な物流の実現に向け重点的に議論

■物流の効率化に向けた広域道路ネットワークの課題
【平常時】物流拠点間の速達性、大型物流車両の走行性確保
【災害時】災害発生時のバックアップ機能、リスクマネジメントに対する物流の非効率性

■基本方針の実現に向けた計画

◆広域道路ネットワーク（物流路線）

[現在の問題点]
・渋滞や道路構造に起因し物流効率が低下
⇒交通渋滞による速達性の低下
⇒線形不良箇所等により物流効率が低下

[当面の措置・問題点への対応]
・供用ネットワークをベースに重要物流道路を指定
・重要物流道路のうち特車フリー区間を指定
⇒特車フリー区間により交通環境改善
⇒基幹道路隘路区間を回避し適切な経路を走行

[将来計画・問題点への対応]
・計画道路の整備も含め重要物流道路指定
⇒指定された地域高規格道路や渋滞対策により速達性は向上
⇒機能強化等により大型物流車両の走行性は向上

◆広域道路ネットワーク（災害代替機能）

[現在の問題点]
・脆弱区間を有する緊急輸送道路
⇒災害時に起因した物流の非効率が発生

[当面の措置・問題点への対応]
・供用ネットワークをベースに重要物流道路、代替・補完路を指定
⇒災害発生時には国による速やかな啓開・復旧代行

[将来計画・問題点への対応]
・計画道路の整備も含め重要物流道路、代替・補完路指定
⇒ダブルネットワークの形成、脆弱箇所の解消
⇒災害発生時には国による速やかな啓開・復旧代行